

H.U. GROUP
CORPORATE PROFILE

Healthcare for You

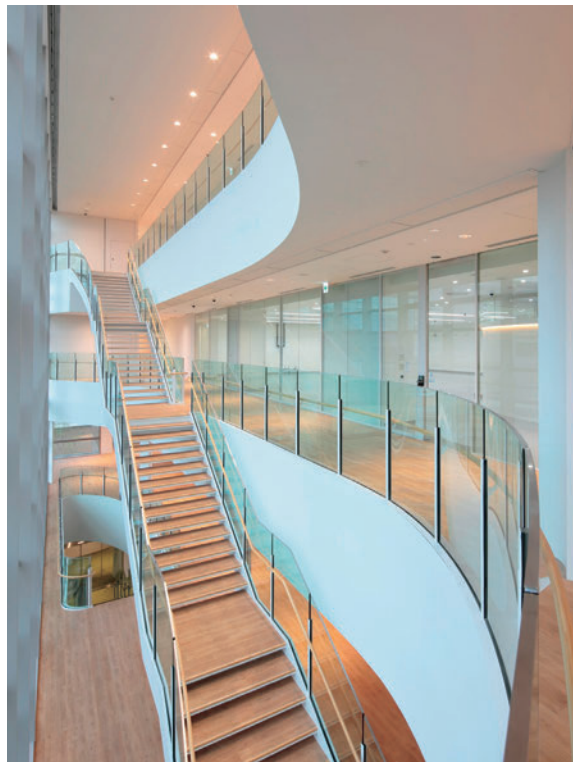


Healthcare for You





HU
H.U.GROUP



トップメッセージ

TOP MESSAGE

「Healthcare for You」の 実現に向けた挑戦を続けていきます。

私たちは、創業以来70年以上にわたり、臨床検査を中心とした事業に真摯に取り組み、医療を支えてきました。現在では、より広いヘルスケアに事業領域を拡大するとともにグローバルにも事業を展開し、社名に表す「Healthcare for You」の実現に向けた挑戦を続けています。

H.U.グループは、今後も人々の健康への願いに誠実に向き合いながら、業界における変革の旗手となり、医療・ヘルスケアの未来に貢献してまいります。

H.U.グループホールディングス株式会社
取締役 代表執行役会長 兼 社長 兼 グループ CEO

竹内 成和



Mission, Vision

Mission

ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、
人々の健康と医療の未来に貢献する

Vision

人々の健康に寄り添い、信頼とイノベーションを通じて、
ヘルスケアの発展に貢献するグループを目指す

グループ
理念体系は
こちら



H.U.グループのステートメント

Healthcare for You

私たちが、大切にすること
それは、豊かな未来をつくる原点となる一人ひとりの健康です
人々の健康を見つめてきた私たちだからこそ、
医療の未来に変革を起こすことができる
そして、ヘルスケアに新たな可能性を生み出すことができる

私たちは、挑み続けます
一人ひとりに最適なヘルスケアを届けることを

止まることなく、これからも
Healthcare for You
あなたの健康のために、未来の笑顔のために。

I 沿革



1950 ● 富士レビオ株式会社
(旧富士臓器製薬株式会社) 創業
医薬品の製造・販売を開始

1966 ● 診断薬の製造・販売を開始

1983 ● 富士レビオに社名変更
東証2部上場

1987 ● 東証1部上場

2000 ● 医薬品事業の売却



1970 ● 株式会社エスアールエル
(旧株式会社東京スペシャルレファランスラボラトリー)
創業

1989 ● エスアールエルに社名変更

1990 ● 東証2部上場

2000 ● 日本ステリを完全子会社化

2001 ● 東証1部上場



1987 ● 日本ステリ株式会社
創業

2005

みらかホールディングス株式会社設立
(富士レビオとエスアールエルが経営統合)

富士レビオ・
ホールディングス株式会社設立

2017

2020



H.U.グループホールディングス株式会社へ社名変更

数字で見るH.U.グループ

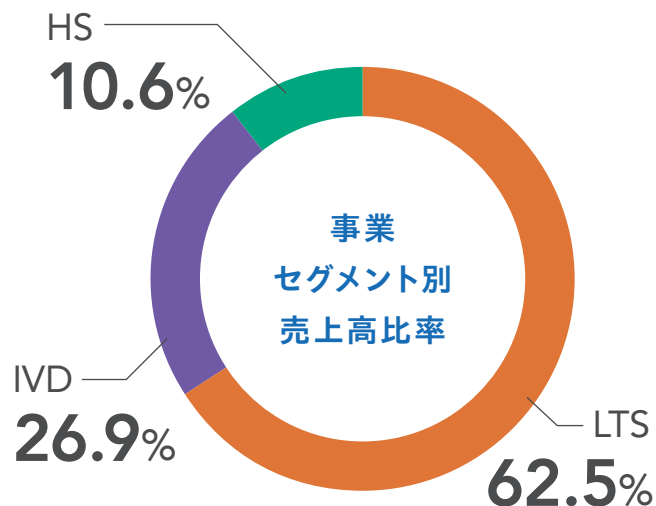
ABOUT H.U.GROUP

事業セグメント概況

LTS
検査・関連
サービス事業
1,631億円

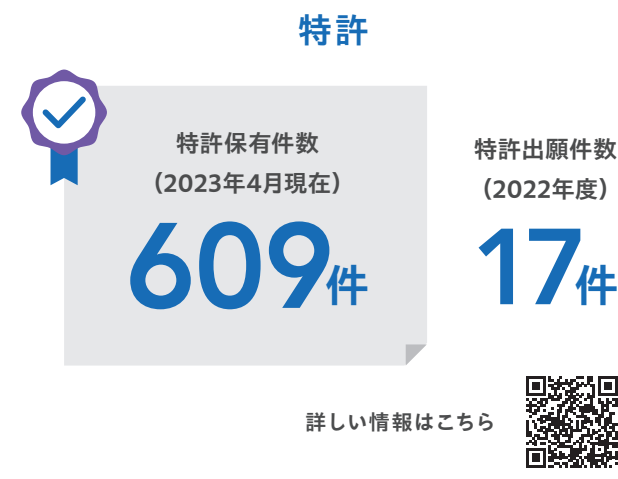
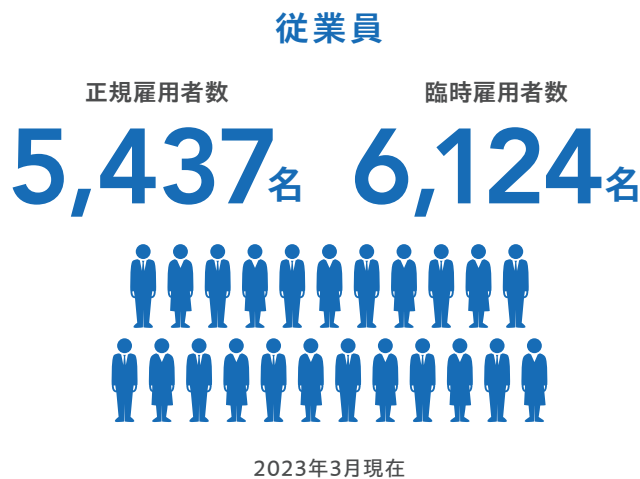
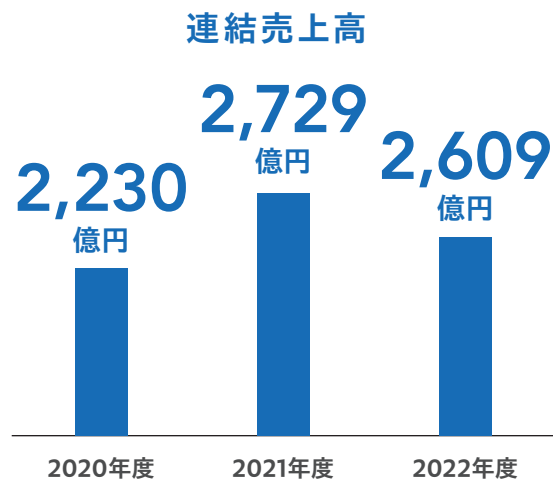
IVD
臨床検査薬事業
701億円

HS
ヘルスケア関連
サービス事業
278億円



2022年度実績、パーセントは連結売上高に占める割合

グループ会社




研究開発費・ラボ拠点

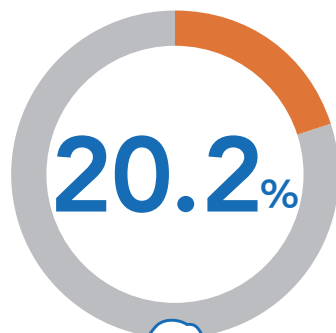
研究開発費 (2022年度)

 **9,556** 百万円

ラボ拠点 (2023年3月現在)

 全国約 **50** カ所

女性管理職比率



2023年3月現在

H.U.グループ環境長期目標

2050年



CO₂ (Scope1・2) の排出量

ネットゼロ

2030年

CO₂ (Scope1・2) の
排出量 総量

37.8% 

(2021年度比)

CO₂ (Scope3) の
排出量 総量

22.5% 

(2021年度比)

2025年

CO₂ (Scope1・2) の
排出量 総量

16.8% 

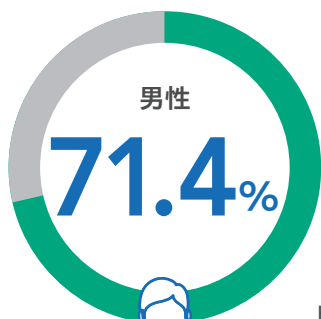
(2021年度比)

CO₂ (Scope3) の
排出量 総量

10.0% 

(2021年度比)

育児休業・休暇取得率 (男性/女性)



H.U.グループホールディングス、富士レビオ、
エスアールエル、H.U.フロンティア、日本ステリの5社計
2022年度

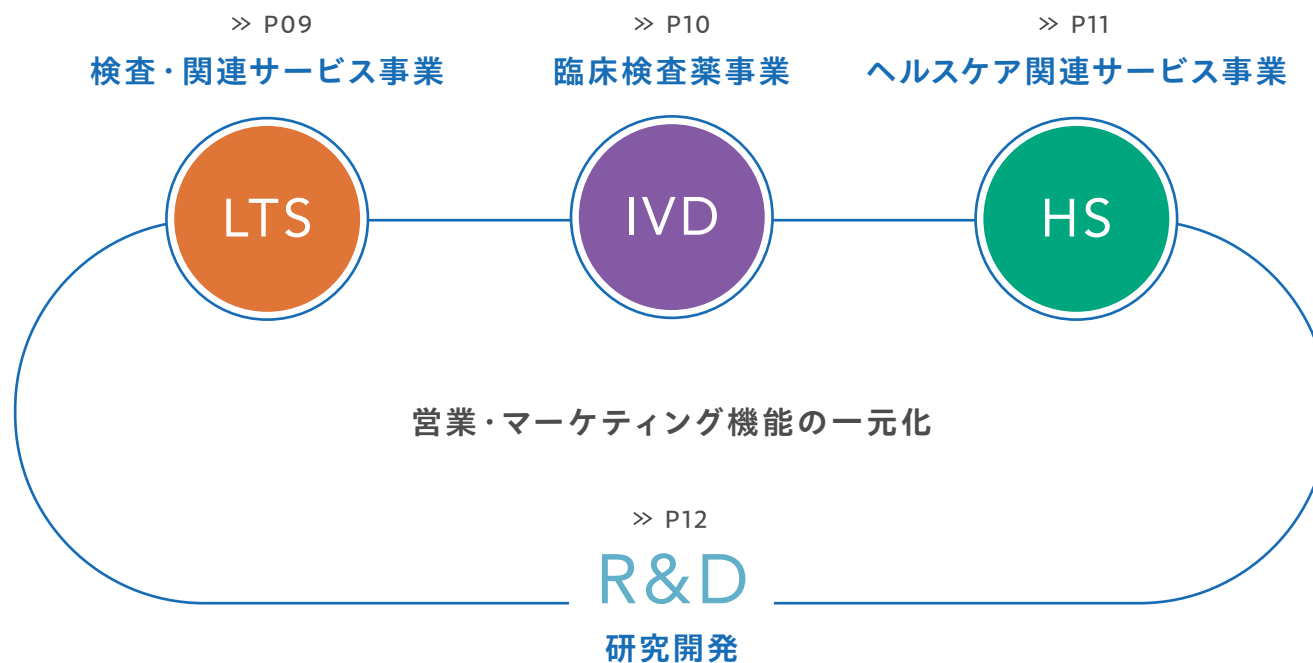


H.U.グループの主な事業

OUR BUSINESS

信頼とイノベーションを通じて、健康を願うすべての人に、
最適なヘルスケアソリューションを提供します。

H.U.グループは、同じ傘下に検査・関連サービス事業 (LTS) と臨床検査薬事業 (IVD) を併せ持つ数少ないグループ企業であり、そこにヘルスケア関連サービス事業 (HS) を加えた3つの事業を展開し、一人ひとりに寄り添ったヘルスケアを提供するための挑戦を続けています。



統括営業会社によるグループ一体の営業活動

グループ主要会社の営業・マーケティング機能を一元化し、グループの総合力を活用することで、幅広い製品とサービスの強みを融合した最適なヘルスケアソリューションをお客さまに提案します。

統括営業会社

HU H.U.フロンティア



半世紀にわたり医療機関へ総合的な検査サービスを提供

LTS

検査・関連サービス事業

Lab Testing and its related Services

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



全国規模のネットワークを保有する 日本最大級の臨床検査センター

大病院から診療所・クリニックまでのさまざまな全国の医療機関から検体をお預かりし、2022年より稼働した世界最大規模の「H.U. Bioness Complex」をはじめとする検査ラボラトリーで各種検査を行っています。「H.U. Bioness Complex」では、最新機器・AI技術ロボットによるすべての工程においてオートメーション化された検査体制により、高い信頼性と検査受付から終了までの所要時間の短縮による効率性を両立しています。

H.U.グループでは、全国の医療機関から毎日20万件以上の検査を受託しており、臨床検査市場においては、23.4%^{※1}と国内トップシェアを誇っています。検査・関連サービス事業の中核となるエスアールエルは、より高い技術が必要とされるがん・遺伝子検査などの「特殊検査」に強みを持ち、現在では国内の大病院の約8割と取引があります。^{※2}診療所（医院・クリニック）市場においては、全国約1.4万施設^{※3}との取引があり、地域医療にきめ細かで迅速なサービスを展開し貢献しています。

※1 出典：矢野経済研究所「2023年版臨床検査センター経営総監」

※2 エスアールエル調べ（300床以上の施設を対象にした取引件数ベース）

※3 エスアールエル調べ（300床未満の診療所（医院・クリニック）市場を対象にした取引施設数）

先進医療への取り組み

個別化医療の技術革新が進むなかで、先端医療における検査技術はますます高度化しています。当社はがん治療に欠かせないコンパニオン

診断関連検査をはじめ、新たな診断方法の開発につながる全ゲノム解析やプロテオーム解析などのオミックス解析にも力を入れています。

グローバルな医薬品の研究開発をサポート

約30年の実績と経験を持つ治験検査フルサポートを通じて得られた専門知識や高度な技術、そして国内およびアジア・グローバルのネットワークを活用し、臨床試験ならびに臨床研究を総合的にサポートしています。検体検査の精度はもちろん、治験開始前のセットアップおよび検体の集荷からラボラトリーへの搬入、測定、結果報告、データ管理まで一貫したトレーサビリティのもと、高品質なサービスを提供しています。

グループ内CRO（Contract Research Organization）との連携においても、臨床試験／研究の入口から出口までをトータルにサポートしていきます。

ヘルスケア×ICTサービスの展開

地域医療や予防医療の一層の充実が求められるなか、当社は、各種サービスとICT（Information and Communication Technology）を融合させた新たなサービスを展開しています。検査情報のデジタル化を推進するとともに、開業医向け業務支援SaaS（Software as a Service）と、生活者向けのPHR（Personal Health Record）を当社グループで一体的に提供することで、医療の場における検査結果のさらなる活用をサポートし、LTS事業における開業医向けサービスの付加価値向上に取り組んでいます。



主要会社

SIRIL
Communication for Health



臨床検査薬業界のパイオニアでありグローバルに信頼されるパートナー

IVD

臨床検査薬事業

In-Vitro Diagnostics

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



研究開発力を強化し、日・米・欧の 3極体制で新・グローバル戦略を推進

富士レビオ・ホールディングス傘下の日・米・欧に所在する子会社が個社の壁を越え、3極体制により、新・グローバル戦略を推進し、臨床検査薬を世界に届けています。

成長のエンジンは、研究開発力 (R&D) です。継続的な R&D の強化を通じ、他社にない Only One 項目をいち早く製品化。日本国内を中心に、自社プラットフォームの活用により項目の臨床的価値を実証します。そのうえで、世界の診断薬企業とのパートナーシップを通じて、CDMO (受託開発製造) 事業モデルにより、世界に広がります。

神経疾患領域における グローバルリーダー

1995年にアルツハイマー病関連検査試薬を開発・販売してから25年以上にわたり、神経疾患(ニューロロジー)領域のグローバルリーダーとして、研究開発と試薬のラインアップ拡大を進めています。

2010年のInnogenetics (現 Fujirebio Europe) 買収をきっかけに取り組みを強化。アルツハイマー病領域において、当社の全自動化学発光酵素免疫測定システムで使用できる脳脊髄液の検査試薬を日・米・欧で承認取得、上市。さらには、ニーズ

が高まる血液検査用試薬の開発を進め、すでに6項目の開発に成功し、研究用試薬として販売しています。そして、主要国における血液検査用試薬の薬事申請準備も進めています。

2022年には、アルツハイマー病などの神経疾患領域に特化してバイオマーカーを開発してきたベルギーのバイオテクノロジー企業、ADx NeuroSciencesを買収。アルツハイマー病領域以外の神経疾患領域の項目開発を進めるとともに、主要原料をCDMO事業モデルにより、世界の診断薬企業に供給します。

未来の検査を形づくる、 プラットフォーム開発

独自の全自動化学発光酵素免疫測定システムを1992年より展開。このプラットフォームは高く評価され、30年以上にわたり医療機関や検査センターを支えています。また、1997年に迅速診断キットを販売開始。特別な検査機器を要さず、簡単に結果を得られることから、インフルエンザ・新型コロナウイルスなどの感染症検査のプラットフォームとして、試薬ラインアップを拡大しています。

2022年には、超・高感度検出技術を用いた診断薬プラットフォームの共同開発を進めてきた米シリコンバレーのイノベーション型企業 Fluxusを買収。現行プラットフォームの機能を進化させ、未来の検査を形づくるプラットフォーム開発を進めます。



主要会社

 FUJIREBIO



ワンストップのトータルサポートで病院や在宅看護利用者の生活を幅広く支援

HS ヘルスケア関連サービス事業

Healthcare-related Services

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



病院業務の効率的な 運営を支援

日本ステリは、病院内の中央材料室における院内滅菌、自社センター（全国8カ所）における院外滅菌を中心に、手術室支援や内視鏡室支援サービス、医療機器保守点検、物流管理搬送サービスなどの役務提供、また、中央材料室や手術室に関わる医療機器、物品、消耗品の販売など、病院経営に関わる重要な業務をトータルサポートすることで、作業効率向上とスケールメリットとしての経済効果、さらには医師や看護師のみなさまが医療に専念できる環境づくりに貢献しています。

メディカルパートナーとして、日進月歩で変化する医療機関のさまざまなニーズにお応えするため、人材育成、品質向上活動、事業開発に力を注ぎ、最新の医療に対応できるプロフェッショナル技術者集団を形成して専門性の高い技術力やソリューションを提供しています。

安心・安全な 福祉用具を提供

ケアレックスでは、指定福祉用具貸与事業所を通じ、車いすや介護用ベッドなどの福祉用具を供給する福祉用具レンタル卸事業を行っています。利用者の安心で安全な生活を支えるべく、福祉用具の洗浄、消毒、整備という一連の業務について徹底した品質管理を行い、それぞれのニーズに合わせた福祉用具を提案、提供しています。

住み慣れた場所での生活を支える 在宅医療・介護事業

住み慣れた場所で自分らしく生活したい。このようなニーズに向けて、ケアレックスは在宅医療・介護事業も行っています。看護師が自宅に訪問してさまざまなケアを行う訪問看護を中心に、居宅介護支援や訪問介護の運営など、利用者の生活をトータルに支えます。また近年では、より充実したサービスを受けたいというニーズに応え、保険外サービスの展開も始めています。



主要会社

NS Nihon Stery



主要会社

care'x



グループ一体の研究開発でイノベーションを創出

R&D 研究開発

Research and Development

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



H.U.グループでは、つねに未来の医療・ヘルスケアのあるべき姿を想像し、新たな価値の提供をめざした研究開発（R&D）に取り組んでいます。

創業以来培ってきた検査・診断に関わる技術力・開発力に加え、2017年には合同会社H.U.グループ中央研究所（以下、HU中央研究所）を設立し、従来のR&Dのスタイルにとらわれない多様な活動を通してイノベーションの創出をめざしています。

グループR&D体制と研究開発の強化

グループ全体のR&D組織一体化を推進するため、2020年度にR&D統括本部を設置しました。各事業R&DおよびHU中央研究所が各々の活動に注力しながら、グループ全体での戦略・課題・リソースなどの有機的な連携を推進・強化することで、当社グループの強みを活かした新たな価値創出をめざしています。

IVD R&Dの保有する診断薬開発に関わる着実な技術基盤をさらに強化しつつ、LTS R&Dの新規技術評価および導入のノウハウを活用することで、独自性の高い新製品の早期開発および実装が可能となります。また、HU中央研究所を中心として、新規で多様な技術・テクノロジーを早期に取り込むことで、新技術・新領域での製品・サービス開発が可能となり、これまで以上に当社の技術基盤を活用した社会・医療・ヘルスケアへの貢献が可能となると考えています。

次世代医療・ヘルスケア関連の 技術開発の推進

個別化医療の推進、デジタル化・AI化の進展、パンデミック発生にともなう医療アクセスへの制限など、医療・ヘルスケアを取り巻く環境は急速に変化・複雑化しています。そのような大きな環境変化に即座に対応できる人材・技術基盤を構築するとともに、業界に先駆けて変化を主導できるよう、多様な研究領域でのR&D活動・人材育成を積極的に推進します。

さらに、M&A・アライアンスやオープンイノベーションも積極的に推進し、国内外の大学や医療機関・研究機関、企業など外部の技術・事業基盤も活用し、取り入れることで、価値ある製品・サービスをいち早く市場に送り出すことをめざします。

H.U.グループのR&D体制



- 診断薬開発
- No.1/Only One製品の開発
- 新規分析技術開発



- 新規検査の開発・導入
- AI化・機械化推進



H.U.グループ中央研究所

- 技術基盤
- 医療AI・ビッグデータ
- グループ連携・人材育成

R&D連携によるイノベーション



主要会社

HU H.U.グループ中央研究所



H.U.グループの中核施設「H.U. Bioness Complex」

H.U.グループがMissionに掲げる「ヘルスケアにおける新しい価値の創造」

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



1日に数十万件の処理能力を持つ最先端の臨床検査ラボラトリー、
イノベーションを生み出す研究開発施設、同時通訳ブースを設け約200名を収容できる
大ホールなどを備えた、H.U.グループの中核施設である「H.U. Bioness Complex」。

コンセプトは「つなぐ・みせる・はぐくむ」。

さまざまな知見を持った人と人がつながり、その豊かな知識と技術を魅せて共有し、
ヘルスケアの新たな共創が育まれる人の命に寄り添う価値創造の拠点です。



「検査を止めない」：BCP対策

災害が発生しても業務を維持するためにBCP対策を強化しています。これにより、巨大地震などの発生後でも、検査ラボ棟・R&D棟は3日間（72時間）業務継続が可能です。

非常用発電機の
設置

検査ラボ棟
受水槽の設置

免震構造：
検査ラボ棟、R&D棟

耐震構造：
管理棟、厚生棟



施設概要

所在地 : 東京都あきる野市
敷地面積 : 約122,000㎡ (約3万7千坪)
延床面積 : 約66,000㎡ (検査ラボ棟・R&D棟・管理棟・厚生棟合計)



H.U.グループのグローバル展開

OUR GLOBAL EXPANSION

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



H.U.グループは、臨床検査薬事業において、
アメリカ・ヨーロッパ・アジアなどに拠点を構え、
世界100カ国以上に、幅広く製品・サービスを提供しています。
H.U.グループは、グローバル展開を加速させ、
世界中の人々へ最適なヘルスケアをお届けします。



富士レビオ 相模原工場

Europe



Fujirebio Europe N.V. 〈Belgium〉

Japan

United States



Fujirebio Diagnostics, Inc. 〈US〉

H.U.グループのサステナビリティ

OUR SUSTAINABILITY

さらに詳しい情報は
こちらをご覧ください



サステナビリティの考え方について

H.U.グループは、「Mission」、「Vision」、「価値観・行動様式」を理念体系として定め、これに基づく企業活動を通じてサステナビリティが実現できると考えます。この活動により社会課題の解決に取り組み、幅広いステークホルダーと良好な関係を構築いたします。

H.U.グループサステナビリティ・ロードマップ

H.U.グループでは、中期経営計画「H.U. 2025」に併せて、サステナビリティ活動に関わるKPI（重要業績評価指標）および目標を「サステナビリティ・ロードマップ」として公表し、サステナビリティ活動の強化に取り組んでいます。

2カ年目標（2023～2024年度）

環境

E

- CO₂総排出量 12.6%削減（2021年度比）
- 廃プラスチックリサイクル率 82%

社会

S

- 課長以上の女性管理職比率 22%
- 男性の育児休業・休暇取得率 90%
- 従業員を対象とした調査で「仕事に満足」していると回答した従業員の割合 55%
- ホワイト500の維持
- 正社員1人当たりの年間平均研修^{※1}時間 30時間以上の継続
- UNGCセルフアセスメントツール、優良回答群（A） 75%^{※2}
- サプライヤーとの意見交換会 30社^{※2}

※1 DX研修含む

※2 2022～2024年度の3年累計

ガバナンス

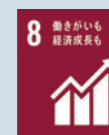
G

- 役員報酬への非財務指標の導入
- 指名委員会委員の社内取締役の兼任解消

SDGsへの貢献

H.U.グループは、1950年に富士臓器製薬として創業して以来、感染症を含むさまざまな社会課題の解決に貢献しています。今後も企業活動を通じてサステナビリティを実現し、医療を支える重要な社会インフラとしてSDGsへの貢献を果たしていきます。

重視するSDGs



CORPORATE PROFILE

会社名	H.U.グループホールディングス株式会社 H.U. Group Holdings, Inc.
本社所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR TEL: 03-6279-0801 (代表) 取締役 代表執行役会長 兼 社長 兼 グループ CEO 竹内 成和
設立	1950年12月18日
資本金	9,274百万円 (2023年3月末現在)
従業員数	5,437名 (連結正規雇用者数) (2023年3月末現在)
株式上場市場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 4544)
経営体制	指名委員会等設置会社
主要子会社	株式会社エスアールエル、富士レビオ株式会社、 日本ステリ株式会社

グループ会社
一覧はこちら



役員紹介は
こちら



H.U.グループの
HPはこちら



<https://www.hugp.com>

H.U.グループホールディングス株式会社
H.U. Group Holdings, Inc.



発行: 2023年7月 printed in Japan